

在宅医療・介護連携室ポピー 令和7年度事業実績報告

在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

事業項目（仕様書～）	計画	進捗状況
（１）地域の医療・介護サービス資源の把握 関係機関との連携により、地域の医療機関、介護事業者等の所在地、機能等を把握し、既存情報と合わせてリスト等を作成する。作成したリスト等は、地域の医療・介護関係者や住民に向けて、ホームページへの掲載等により広く公開を行う。	①在宅医療サービス検索システム ・更新作業東南村山地域新規開業医療機関への発送 ・医師会ホームページへの情報入力作業、PDF版の作成	○在宅医療サービス検索システム掲載情報修正・新規医療機関調査完了・周知 ○ブログ更新（医療と介護の連携交流会、D.r神谷のモーニング研修会） ○他機関からの周知依頼への対応 ○山形県がん緩和ケア地域連携マップ作成に関わる山形市内診療所確認作業（山形県立中央病院・村山保健所から依頼）
	②ポピーホームページの運営 ・新着やブログ更新、地域資源情報やリンクの集約点検作業 ・他機関からの周知依頼への対応	
	③当事者や介護者のための資源情報の把握 ・在宅療養者・介護者等、当事者が集う会やサロン等の情報把握	
（２）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制に向けて、相談支援や地域ケア会議、地域の医療・ケアマネジャー等介護関係者が参画する会議等を通じて、在宅医療・介護連携に関する現状の分析と課題の抽出並びに解決策等の検討を山形市と共に行う。	①在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出 ・実数把握・各種データの把握 ・在宅医療連携推進の会、自立支援型地域ケア会議の傍聴、拡大運営会議や意見交換等の実施 ・研修会や住民講座のアンケート ポピーインタビュー更新（R6年度実績１回） 個別ヒアリング：各連絡会・他専門職団体・他機関などに出向き、連携の課題など聞き取り（連絡会）	○在宅医療・連携推進の会（山形県栄養士会栄養ケアステーション体制構築について情報提供） ○山形市自立支援型地域ケア会議・センター長会議 介護保険事業所連絡会代表者会傍聴 ○ポピーインタビュー ・山形県栄養士会 顧問 西本恵美子氏 ・老人保健施設 フローラさいせい 生活相談員 小野寺真知子氏 ○個別ヒアリング： ・第1層SC・上宝沢地区の交通に絡む医療の課題 →11月17日地域住民の協議の場に出向いて現状やアンケート結果等お聞きする。 ・山大救急麻酔科の医師より救急現場における患者や家族の医療選択についての課題 →11月20日根本医師、市とポピーが行うACPの取り組みについて情報交換 ・おれんじサポートチーム：月1回の情報交換継続 ・山形市薬剤師会・山形県栄養士会・山形県歯科衛生士会へのヒアリング
	②対応策の検討 ・山形市・基幹型地域包括と現状分析や課題抽出を行い共有・対 ・救急対応について対応策の検討（市・基幹型） ・身寄りなし課題について（医療連携室連絡会→地域課題へ）	
（３）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 高齢者が入院から退院後の在宅生活まで、切れ目ない支援を受け、安心して生活が送れるようにするため、山形市や職能団体、医療政策を担う山形県や村山保健所と連携協力しながら、地域の医療・介護関係者の理解促進と研修等による顔の見える関係づくりを行う。また、「山形市入退院支援フロー（地域版）」及び「村山地域入退院支援の手引き」を活用し、病院や医療連携室、地域の診療所等とより連携しやすい環境に向けた取組を行う。	①拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場） 地域課題に沿ったテーマで開催 （「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」）	○おれんじサポートチームと開催に向けた検討をしていたが、効果的開催が具体化できず情報交換を継続→認知症医療ネットワーク・地域のサービスにつなぐ等の認知症の空白期間の短縮に関する医師への周知課題は拡大運営会議で検討していたが、研修会を活用した情報提供に方法を変更。次年度に向けて計画。拡大運営会議は現在のところ行わない ○短期入所の活用について 重中度者受入加算の拡充について、それぞれの連絡会での情報提供・意見の抽出を実施予定。時期が来たら拡大運営会議として取り上げる。
	②医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組 ・山形市入退院支援フロー（地域版） 活用状況の把握と課題点検、必要に応じた見直し、その他地域と病院の連携状況の把握 ・村山保健所主催「入退院調整ルール検討プロジェクト」再開に向けた地域や村山保健所との実態把握と情報交換	
	・山形市地域医療連携室連絡会の開催	
	③ケアマネジャーと訪問看護の連携の構築 ・訪問看護活用のための情報交換や連携構築のための研修会の企画に向けてそれぞれの連絡会代表と情報交換、構築の場を企画・運営。	
		○山形市入退院支援フロー（地域版）の退院時情報用紙の取り扱い方について、村山保健所合同会議の場で書いてもらうのではなく項目を意識した情報収集をケアマネ側から行うものとして周知説明。 ○村山保健所にて入退院調整ルール検討プロジェクト再開・始動 これまでの動きや関わった方々について村山保健所へ情報提供 再検討への意見提出、保健所との打合せ。11月19日村山保健所合同会議。
		○医療連携室連絡会関係事務・幹事会・連絡会開催 7月29日山形市地域医療連携室連絡会 12月12日山形市地域医療連携室連絡会 →身寄りない方への入退院支援について課題整理し2月17日予定の地域ケア調整会議に提出
		実績なし

（４）相談支援 地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター、住民等に対して、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談を受け付け、必要に応じ医療関係者・介護関係者等の連携調整や相談者の意向を踏まえた関係機関の紹介等を行う。また、相談窓口や在宅医療・介護連携室の役割について、地域住民、関係者等に周知するとともに、個々の相談事例から明らかになった在宅医療・介護の連携のポイント等をまとめた事例集を作成、活用し、関係者等のより一層の連携促進に向けた周知を行う。	①相談窓口の開設 ・月～金9:00～16:00（祝、12/29～1/3、8/13～15を除く） ・地域の支援者・住民、他地域からの相談に対応	相談件数：4月 12件 7月 12件 10月 15件 1月 7件 5月 6件 8月 6件 11月 7件 2月 8件 6月 10件 9月 16件 12月 5件 3月 5件 合計：110件 ○課題：第1層生活支援コーディネーターより医療と交通の課題（上宝沢地域） ○相談：医療の課題・医療・介護連携事業の継続について相談（山辺包括）
	②窓口の周知 ・ポピーホームページ・チラシ「医療と介護の連携ブック」配布 ・研修会や住民講座等による窓口の周知	会議や住民講座、研修会などの機会をとらえて持参・配布
	③自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加	○山形市自立支援型地域ケア会議（鹿野）
（５）地域住民への普及啓発 将来にわたって望む暮らしができるよう、在宅医療・介護、看取りを含む人生会議（ACP）、在宅療養等について、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、おれんじサポートチーム等と連携し、「在宅療養リーフレット」や「普及啓発動画」「やまがた人生備えの書」、及び気軽に話し合いができるツール等の普及啓発ツールを活用したフォーラムや住民講座の開催などにより、地域住民の理解の促進を図る。	①普及啓発ツールの広報・周知・活用 ・「在宅療養リーフレット」や「人生会議・在宅療養普及啓発動画」「いっぶぐカード」等の普及啓発ツールを活用し相談対応や住民講座の開催、周知を行う	○山形県看護協会の村山地域研修会で人生会議をテーマとする住民啓発について報告。ツールを実物と二次元コードで紹介。 ○いっぶぐカード改定作業（山形西部包括と） ○鳥取中部保健所より多職種の検討会でいっぶぐカードや人生会議普及啓発についての説明依頼あり、次年度ZOOMでつなぎ説明予定（市・山形西部同席） ○包括ふれあい「ふれあいすごろく」作成への助言
	②関係者への教育支援や後方支援 ・地域の支援者がACPや在宅療養を理解し、普及啓発や住民支援が行えるよう、必要に応じて情報提供・相談・研修会などを行う	実績なし
	③住民講座への協力や講座開催の後方支援 ・地域からの依頼に応じ、在宅療養や人生会議などの普及啓発を目的とした講座への協力や後方支援を行う（R6年度実績20件）	○住民啓発活動 4月11日 暮らしの保健室から「いっぶぐカードでお話ししよう」24名 4月24日 ファーコス薬局サロン「いっぶぐカードでお話ししよう」12名 5月8日 ジョインサロン「いっぶぐカードでお話ししよう」11名 5月15日 たまやま上板田公民館サロン「いっぶぐカードでお話ししよう」20名 6月10日 南沼原いまいきカフェ「カードゲームで自分の想いを口にしてみよう」22名 6月13日 たまやま小立・平清水サロン「いっぶぐカードで人生会議」20名 7月15日 たまやまいわなみサロン「いっぶぐカードを使って自分のことを話してみよう」19名 7月24日 敬寿会介護予防講座「自分らしく生きる～いっぶぐカードで話し合ってみませんか～」16名 9月28日 南原地区4者懇談会「人生会議」～いっぶぐカードからはじめよう」29名 10月14日 ジョイン講座カードゲームで気軽に人生会議 4名 10月26日 たまやま包括シニア健康講座「人生会議～自分のことを自分の言葉で伝えよう～」29名 12月4日 山寺地区福祉協力員研修会「人生会議について～いっぶぐカードで話し合ってみませんか～」11名 2月15日 高瀬地区福祉協力員研修会「いっぶぐカードを使った人生会議を体験！」20名 計13件 延べ237名
	④地域への情報発信 ・10月、市役所玄関脇で人生会議と在宅療養に関する展示カフェ	○在宅療養展示カフェ準備に向けた依頼・打ち合わせ（福祉用具連絡会・訪問入浴連絡会・介護サービス事業所連絡会代表者会） ○ふらっとカフェin山形市役所～在宅療養を知ろう～ 市役所エントランスホールで9月30日～10月3日開催 （延べ200名来場）
	⑤人生会議普及啓発ツール「いっぶぐカード」を地域住民に活用いただくための検討 ・住民の活用ニーズに対応するための対応 ・地域での活動支援、他	○改訂版作成に向けた打ち合わせ(5月14日山形西部包括) 改定作業→改訂版原稿完成（印刷・ラミネート作業未定） ○山形県看護協会研修委員へいっぶぐカード説明・レクチャー
	⑥在宅医療・介護推進フォーラムの開催 ・R8年度開催に向けた準備・講師選定・会場予約・企画やチラシ準備	○令和7年6月13日（土）開催予定 「自分らしく」を大切にする在宅療養の秘訣～介護する人もされる人も共に幸せに暮らし続けるために～ 山形ビッグウイング大会議室・交流ホール予約・講師新田恵利氏依頼、チラシ案作成 介護サービス事業所連絡会代表者会・福祉用具連絡会・訪問入浴連絡会に展示協力依頼 暮らしの保健室やまがた、基幹型・1層コーディネーターに協力依頼、ミニ講座の内容検討・職能団体や企業への協力依頼 3月2日 第1回フォーラム全体会開催
（６）在宅医療・介護サービス等の情報共有の支援 多職種連携ネットワークシステム「ポピーねっとやまがた」や「山形市入退院支援フロー（地域版）」、「村山地域入退院支援の手引き」の活用効果や好事例の紹介などにより、これらのツールの普及を進め、医療・介護に携わる多職種間の連携と情報共有を促進する。	①多職種連携SNS「ポピーねっとやまがた」 ・活用状況やMCSシステム状況の把握 ・運用ルールの普及（情報の管理やマナーなど） ・事務手続きや操作などの相談支援 ・患者タイムライン構築への協力支援 ・普及啓発のための情報発信・研修など ・市医師会看取り当番医への導入支援	累計事業所106件、登録者数359名
	②「山形市入退院支援フロー（地域版）」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・山形市入退院支援フローの点検・見直し 仕様書（３）再掲 ・改定版の周知 仕様書（３）再掲	○村山地域入退院支援の手引き改定について村山保健所と意見交換・改定に向けた意見提出、他

(7) 在宅医療・介護関係者の研修など 地域の医療・介護関係者に対する研修や出張勉強会などの開催及び支援を行い、認知症など中重度の要介護状態や医療依存度が高い高齢者への看取りを含む支援、本人の意思を尊重した支援、在宅医療・介護連携における対応力を高め、多職種によるチーム支援の推進を図る。	①研修会の実施 ○「患者の想いを実現するための実践～元気な時から最期の時まで～」 緩和医療専門医・指導医神谷浩平氏 全4回（5月21日、6月25日、7月23日、9月10日）9:00～11:00 ○医療福祉研修会（済生館病院と合同）秋ごろ ○ふらっとカフェ時期未定 ※その他、ヒアリングから、各専門職や団体における連携の課題を解決するための研修を随時企画・実施（R6年度研修会実績3回） ②研修会などの開催手段や方法の検討・対応 ③介護系事業所向けの研修 ・介護事業所におけるチーム強化 ・看取り体制に関わる研修会 ・高齢者施設における摂食嚥下機能評価の研究事業（市医師会）の施設支援 ④医療と介護の連携交流会の開催に向けた検討 ⑤その他講師	○「患者の想いを実現するための実践～元気な時から最期の時まで～」神谷浩平氏 5月21日 分かりやすい臨床倫理～患者の最善を話し合う枠組みを体験しよう！～ 29名 6月25日 分かりやすいACPと意思決定支援の理解～目指すべきアウトカムは何か？～ 30名 7月23日 分かりやすい意思決定の支援プロセス～「コミュニケーションは改善できる！」～ 30名 9月10日 まとめ：理念と実践の提案 28名 ○7月19日（土）摂食嚥下機能支援協議会研修会 山形市医師会館 最後まで安全に美味しく食べる～誤嚥性肺炎で入院を繰り返さないための支援を学ぶ～ 福村直毅氏・福村弘子氏（村山地域摂食嚥下機能支援協議会主催・ポピー共催） 167名参加（うち市内事業所より113名参加） ○11月27日 医療福祉研修会（済生館病院との合同研修会） 「自宅で医療と介護のサービスを受けながら家族と共に自分らしく過ごす」とは 看護師 小林美保氏（地域15名・病院25名参加） ○3月10日 ふらっとカフェ ～医療介護関係者のメンタルヘルス～ 明治安田生命 8名 計7件 延べ332名
(8) その他必用な事業 その他、各種会議等への参加による課題把握や情報提供など、本業務の目的達成のために必要な業務を行う。	①拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催 ・ポピーの事業と運営委員の状況に応じ実施（R6年度3回） ・認知症の方を地域につなぐための場として拡大運営会議を検討 ②ポピーホームページの充実 ③各種会議への参加（随時） ・「医療と介護の連携」に関する意見・情報発信を行う ④地域の医療や介護の課題に関する事業への協力 ⑤スタッフのスキルアップ ・相談対応力向上や在宅医療最新情報、動向を得ることを目的とした研修会への参加（拠点研修会議、インテグレーター養成講座、在宅医療連合学会等） ・村山地域医療介護連携拠点や他拠点（栗原・名取・沼田利根）との情報交換	○9月1日・2月12日運営会議 ・→医師への周知手段を拡大運営会議ではなく研修会で検討中 ○新着更新（多機関からの御案内、他） ○ブログ更新（摂食嚥下研修会・花笠・医療と介護の連携推進のための交流会・Dr神谷のモーニング研修会・在宅療養展示カフェ、他） ○4月17日、南沼原関係者会議（鹿野） ○5月22日、10月23日、たきやま地域包括支援センター関係者連絡会（鹿野） ○5月31日、地域包括支援センターふれあいネットワーク連絡会（鹿野） ○6月19日、9月18日ちーむわんつー事業所連絡会（さくら包括）（鹿野） ○11月17日、上宝沢健やか応援隊情報交換「交通と医療の課題」（鹿野） ○2月1日、第9地区関係者ネットワーク連絡会（鹿野） ○2月25日、第4地区ネットワーク連絡会（大場） ○山形市：センター長会議傍聴・地域ケア調整会議・自立支援型地域ケア会議（鹿野） ○基幹型：介護サービス事業所連絡会代表者会議（鹿野）権利擁護部会（大場） ○看取り当番会議（大場）、村山地域摂食嚥下機能支援協議会（鹿野） ○おれんじサポートチーム・認知症医療ネットワーク・多機関協働支援センター関係（鹿野） ○村山保健所在宅医療専門部会（鹿野） ○6月6日山形さくら町病院地域連携シンポジウム(鹿野・大場) ○6月20日看護協会職能研修会終活ジャーナリスト金子雅子氏講演会（鹿野） ○7月7日地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の推進セミナー(鹿野) ○7月15日山形市居宅研修会（福祉用具住宅改修研修会）（鹿野） ○村山緩和ケア研究会（鹿野・大場） ○9月4日（大場）10月15日（鹿野）認知症サポーター養成講座（大場） ○10月9日（鹿野）1月28日（大場）高齢者セミナー ○都道府県市担当者等研修会議Ⅰ・Ⅱ（鹿野・大場）Ⅲ（大場） ○12月14日本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会（大場） ○1月23日家族支援研修会（鹿野） ○2月12日権利擁護セミナー（大場） 2月20日たんばぼ研修会「歯科現場の実践共有と多職種連携の研修会」（鹿野） ○3月5日至誠堂総合病院摂食嚥下チーム視察（鹿野） ○3月12日介護保険研修会（鹿野・大場） ○地域包括ケア支援協議会勉強会、プラットフォーム会議（鹿野） ○村山地域医療介護連携拠点連絡会（6月12日、12月8日）

★医療・介護連携4つの局面 …………… 1. 入退院支援 2. 急変時の対応 3. 日常の療養支援 4. 在宅看取り